

奨学金助成活用 海外研究で成果

大学院生3人

可児市で報告

海外に中長期で留学する
岐阜大学大学院の院生を支援
する「バロー・Vドラッグ
海外研修奨学金助成事業」
を利用した大学院生3人
が、可児市大森のバローホ

ールディングス人材開発セ
ンター「嫩葉舎」を訪れ、
田代正美会長兼社長に成果
を報告し、経験を生かした
今後への意気込みを語った
＝写真＝。

同社の支援を受けて20
14年から続く奨学金。今
回は連合農学研究科3年の
服部浩之さん(28)、社会人
学生で同研究科2年の長縄
秀俊さん(56)、自然科学技
術研究科1年の桜井まゆさ
ん(23)の3人が2カ月、1
年、海外で研究を深めた。
服部さんはカナダのアル
バータ大で香辛料から抽出

した成分の有機合成などを
研究。長縄さんはハンガリ
ー自然史博物館で100年
以上前のカブトエビの標本
を調査し、桜井さんはリト
アニアのウィータウタス・
マグヌス大で人口動態を中
心とした社会情勢を研究し
た。
(原田大介)

